

## メカノバイオロジーの観点から迫るがん細胞の集団的浸潤

加藤琢哉

The Francis Crick Institute, Project Research Scientist

最近の研究により、がんの転移が上皮間葉転換（Epithelial-Mesenchymal Transition: EMT）に非依存的に起こりうることを示されている。このことは EMT を起こした個々バラバラの細胞の運動よりもむしろ集団を形成したがん細胞の移動（がん細胞の集団的浸潤）が、浸潤・転移において従来考えられていたよりも重要であることを示唆している。ところが集団的浸潤の制御機構、特に物理的・力学的な性質に基づいたメカニズムについては限られた情報しか得られていない。本セミナーではがん関連線維芽細胞（Cancer-associated fibroblast: CAF）依存的な扁平上皮がんの集団的浸潤について、①がん細胞-CAF 接着による浸潤能制御、②がん細胞-がん細胞間接着および細胞外マトリックスリモデリングによる浸潤パターン制御機構についてお話ししたい。